

岡崎市内の交通モードについて

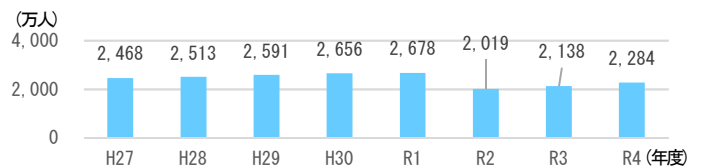
1 交通ネットワーク

- ・道路：広域交通網として東名高速道路、新東名高速道路が東西を通過し、幹線道路網は国道1号、248号、473号を軸に主要地方道岡崎環状線、岡崎刈谷線の県道により形成
- ・鉄道：JR東海道本線2駅/名鉄名古屋本線9駅/愛知環状鉄道6駅の**3路線17駅**で形成
- ・バス路線：名鉄バス44路線/名鉄東部交通バス2路線/額田地域コミュニティ交通4路線の**50路線**で形成
- ・カバー率：バスの徒歩圏（鉄道駅：800m/バス停：300m圏内）の人口カバー率は居住誘導重点区域で99%、居住誘導区域で86%、岡崎市全域で78%

2 公共交通の利用者数

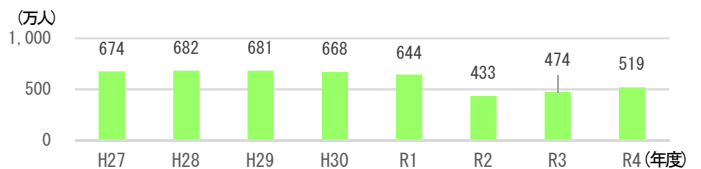
●鉄道利用者数：2,284万人（R4）

- 【参考】JR：618万人（岡崎駅560万人）
名鉄：1,264万人（東岡崎駅606万人）
愛知環状鉄道：402万人（岡崎駅164万人）



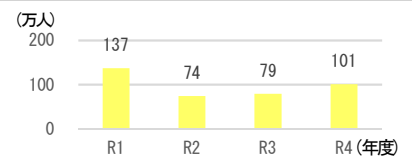
●バス利用者数：519万人（R4）

- 【参考】事業者路線（補助対象外路線）：385万人
運行補助路線：134万人
額田コミュニティ交通：3,474人
予約型乗合タクシー：2,058人



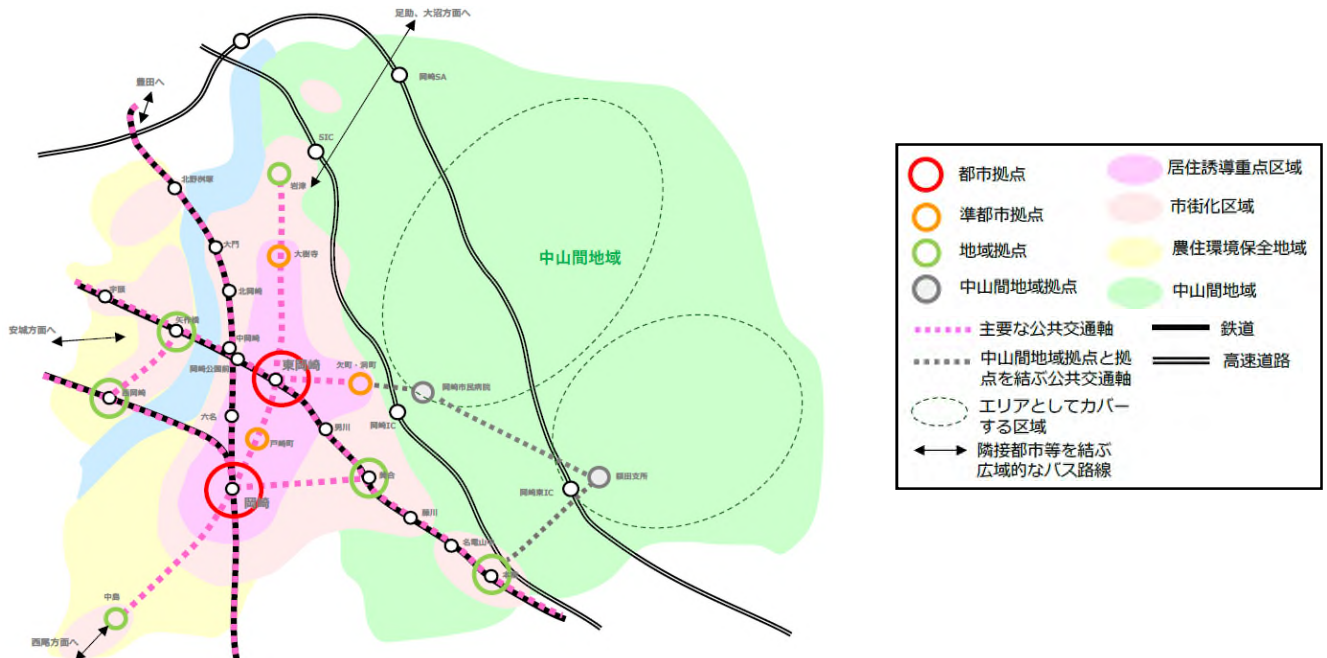
●タクシー利用者数：101万人（R4）

- 【参考】市内に本社を有する事業者数：7社
車両数：242台 営業収入：1,274,213千円
走行キロ：5,977,819km 日車营收：175,059円
輸送回数：746,712回



3 岡崎市地域公共交通計画（令和4年3月策定）

- ・目標年次：令和4年度～8年度
- ・基本理念：「新たなくらしと活力の創造を支える交通体系」
- ・基本目標：「交流を支え都市の魅力を高める」「地域のニーズにあった地域主体の交通」「人と環境にやさしい交通」「新たな社会に対応したスマートな交通」
- ・成果目標：「公共交通利用者数の回復 鉄道利用者数2,678万人/バス利用者数668万人/タクシー利用者数137万人」



4 目標達成のための主要施策

●施策② 都心ゾーンにおける新たな交通手段の検討

- ・都心ゾーンの回遊性を向上する新たな交通手段の導入/観光資源となるような新たなモビリティの活用

⇒パーソナルモビリティ「C+walk」「WHILL」の貸出を実施※1

自動運転バスの実証運行の実施※2

※1 左:C+walk 右:WHILL



※2



●施策③ 交通結節点・乗換拠点の整備

- ・東岡崎駅については、交通結節点の機能と都市機能を強化し、本市の玄関口としてふさわしい、賑わいと交流に資する駅空間の実現

⇒東岡崎駅周辺地区整備を実施（令和12年度完了予定）

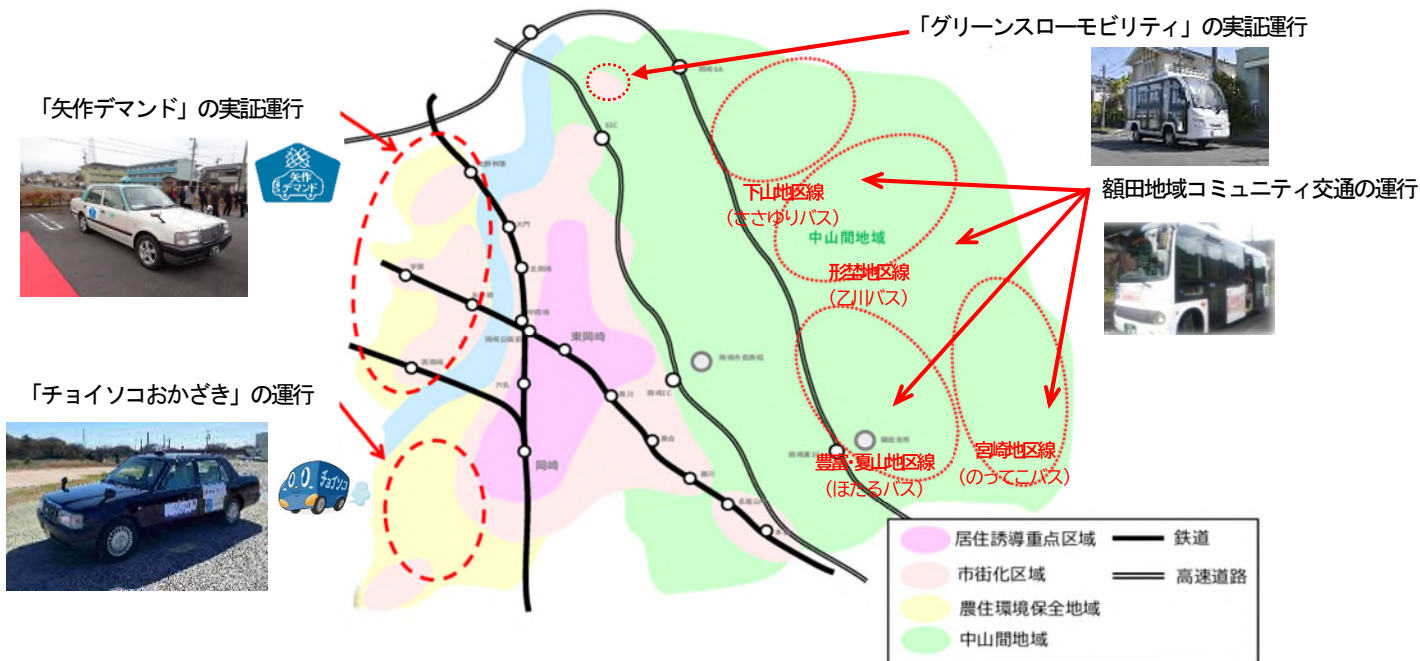


●施策⑪ 地域主体による交通手段の拡充

- ・地域主体の交通の実現のため、地域住民・行政・交通事業者が役割を分担・連携して取り組む

⇒額田地域コミュニティ交通の運行、「チョイソコおかざき」の運行、「矢作デマンド」の実証運行を実施

北斗台地区におけるグリーンスローモビリティの実証運行を実施



●施策⑬ 交通バリアフリー化の推進

- ・鉄道駅については、バリアフリー法に基づきバリアフリー化を促進

⇒中岡崎駅のバリアフリー化を実施予定

●施策⑭ 移動制約者に対する支援

- ・公共交通の利用促進を図るために、路線バスの定額制フリーパス購入費用の一部負担を実施

⇒名鉄バスが販売する高齢者向けフリーパス購入費用の一部負担を実施